

## ○ワークショップ「ビジネス経済学」

開催責任者 ビジネス研究科 湯本祐司

経営学部 南川和充

2010年10月23、24日

南山大学名古屋キャンパス J棟特別合同研究室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

### ◇報告者および題目

10月23日（土）13:00-18:00

座長：倉澤資成（横浜国立大学大学院国際社会科学研究所）

報告者：中野沙弥香（兵庫県立大学大学院経済学研究科）

論題：How to Supply Safer Food: A Strategic Trade Policy Point of View

討論者：笹井均・善如悠介（神戸大学大学院経営学研究科）

報告者：鄭潤澈（慶應義塾大学商学部）・丸山雅祥（神戸大学大学院経営学研究科）

論題：Offering Discounts to “New” or “Past” Customers: Price Discrimination in  
Markets with Consumer nertia and Variety Seeking

討論者：宇高淳郎（京都大学大学院経済学研究科）

報告者：松井建二（神戸大学大学院経営学研究科）

論 題：Tax Accounting Regimes under Firm Entry Pressure: Separate Accounting versus Formula Apportionment

討論者：藤澤千栄子（京都大学大学院経済学研究科）

10月24日（日）10:00－13:00

座 長：松村敏弘（東京大学社会科学研究所）

報告者：成生達彦（京都大学大学院経営管理研究部）

論 題：耐久財複占

討論者：中田善啓（甲南大学経営学部）・山下 悠（神戸大学大学院経営学研究科）

報告者：David Flath（大阪大学社会経済研究所）

論 題：Resale Price Maintenance by Japanese Newspapers

討論者：中山雄司（大阪府立大学経済学部）・大北健一（香川大学大学院地域マネジメント研究科）

#### ◇ワークショップの討論内容

##### 1. 企業間競争や組織間関係に関する理論分析

川下部門と川上部門との取引を伴う多国籍企業間の製品競争と経済厚生に与える課税会計方式の効果に関する分析、耐久財市場における複占企業間での販売様式（リースか購入か）の選択および製品価格設定に関する競争分析、自国企業と外国企業における自国財と輸入財の品質改善インセンティブと経済厚生に及ぼす輸入品関税（または補助金）の効果に関する研究、スイッチングコストを伴う市場における顧客の購買履歴に基づく価格差別（新規顧客割引か既存顧客割引か）を行なう企業間の競争に関する分析、について理論研究の報告があった。

##### 2. 競争政策に関する実証分析

再販独禁法適用除外となっている日本の新聞社における新聞購読料を規定する要因に関する実証分析、について報告があった。

#### ◇研究成果発表

報告者が各自、学術誌などに論文投稿や学会報告を計画している。